

# 《南区伝達講習》

2024年7月21日(日)

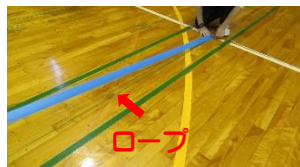
場所: 南区スポーツセンター中体育室全面(9時~12時)  
 内容: ゴールボール  
 リーダー: 西河内研修部長・望月・荒川・盛中・豊田・榎本・(黒住/伝達講習欠席)

## 8時30分~リーダーにより準備(コート作成)

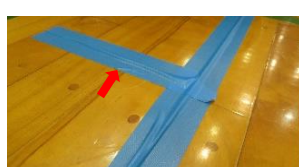


ロープは長さに切ってセットされている

アイマスクの代用として



ロープの上からテープを貼る



守備位置の目印



①開会式9時15分開始  
(司会:中岡総務部長)



②視覚障がい概要  
(講師:望月)



視覚障がい者の誘導方法  
(講師補助:盛中・榎本)



杖を持っていない方に  
斜め一歩前に立ち  
肘か肩を持ってもらう



狭くなりますので、  
私の後ろにどうぞ



階段です  
左側が壁で手摺り  
もありますよ



階段はあと三段で  
終わりですよ

## ③ゴールボール



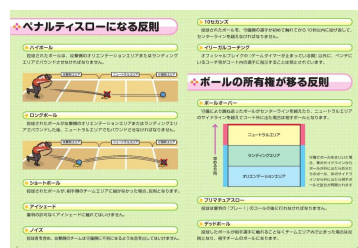
概要説明(豊田)



講師に何度も  
質問したので  
完璧です!



反則説明(荒川)



自分のポジションを触って確認する



三人の位置関係  
ぶつからないように



ゴールには黄色のコーンを置く



キャッチしたら10秒以内に投げる  
投げたら自分の位置を確認しなおすと良い!



痛っ!

向きはあってる  
かなあ...



スポーツセンター講評  
溝田コーディネーター

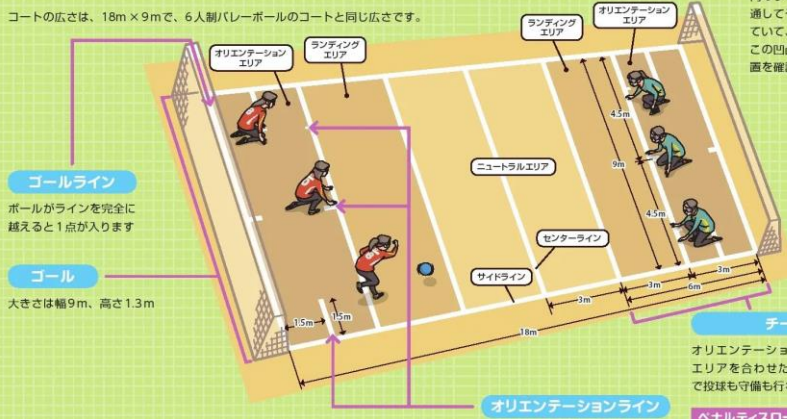


テープのはがし方  
ひもを一緒に捨てない  
ように

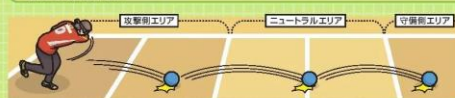


## 使用するコート・主なルール

コートの広さは、18m × 9mで、6人制バレーボールのコートと同じ広さです。



### 正しい投球の例



ゴールボールでは、攻撃時、基本的にはボールを転がしますが、投げたボールが「攻撃側エリア」と「ニュートラルエリア」の両方の床でバウンドしなければ反則となります。反則を犯してしまうと相手チームにペナルティスローが与えられます。

### ラインの下糸

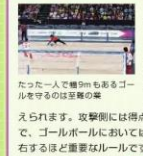
ラインアウトラインを除くコート内のラインには、床との間に糸を通してその上からテープが貼られていて、凹凸があります。選手はこの凹凸の感触を頼りに自分の位置を確認しています。



### チームエリア

オリエンテーションエリアとランディングエリアを合わせたエリアで、このエリア内で投球も守備も行わなければならない

### ペナルティスローとは？



ペナルティスローでは、反則を犯してしまったチームがたった一人しか守備に入れない状態で、相手チームに投球機会が与えられます。攻撃側には得点のビッグチャンスで、ゴールボールにおいては、勝敗の行方を左右するほど重要なルールです。

## 競技の概要

### チーム編成

1チームは最大6名・ベンチコーチが3名で編成されます。コート上には選手3名が出場します。選手は全員アイシェード（目隠し）を装着し、見えない状態でプレーします。

### 競技用具

#### ボール



バスケットボール（7号球）とほぼ同じ大きさです。しかし重さは1.25kgで、バスケットボールのほぼ2倍です。

#### ゴール



高さ1.3m × 幅9mでサッカーのゴールのようにネットが張ってあります。

#### アイシェード



暗がりの程度（視力や視野）によって競技力の差が出ないよう、選手は完全に目隠しをして同じ条件のもとで競技を行います。また、アイシェードの下にはアイパッチが貼られていて、徹底して視覚がふさがれています。試合前にも審判が各選手のアイシェードをチェックすることで、公平性を保っています。

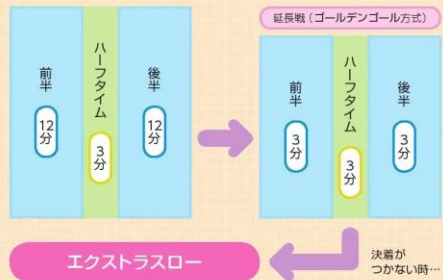
### 競技時間

1試合は12分ハーフの合計24分間で行われます。前後半の間には3分間のハーフタイムが入ります。

同点で前後半を終了した場合は、3分ハーフの延長戦（合計6分間）を行います。どちらかが得点した時点で勝敗が決定するゴールデンゴール方式です。

延長戦でも決着がつかなかった場合は、1対1で投げ合うエクストラスローで決着をつけます。

試合中、チームは1回45秒のタイムアウトを前後半で合計4回取ることができます。そのうち1回は前半に取らなければならない、もし取らなかった場合は1回分のタイムアウトが自動的になくなってしまう。延長戦では前後半を通じて1回のタイムアウトを取ることができます。



## ペナルティスローになる反則

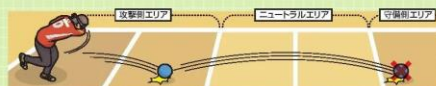
### ハイボール

投球されたボールは、攻撃側のオリエンテーションエリアまたはランディングエリアでバウンドさせなければなりません。



### ロングボール

投球されたボールが攻撃側のオリエンテーションエリアまたはランディングエリアでバウンドした後、ニュートラルエリアでもバウンドさせなければなりません。



### ショートボール

投球されたボールが、相手側のチームエリアに届かなかった場合、反則となります。

### アイシェード

審判の許可なくアイシェードに触れてはいけません。

### ノイズ

投球者を含め、攻撃側のチームは守備側に不利になるような音を出してはいけません。

### 10セカンス

投球されたボールを、守備側の選手が初めて触れてから10秒以内に投げ返して、センターラインを越えなければなりません。

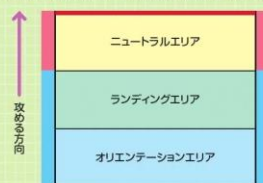
### イリーガルコーチング

オフィシャルブレイク中（ゲームタイマーが止まっている間）以外に、ベンチにいるコーチ等がコート内の選手に指示することは禁止されています。

## ボールの所有権が移る反則

### ボールオーバー

守備により跳ね返ったボールがセンターラインを越えたり、ニュートラルエリアのサイドラインを越えてコート外に出た場合は相手ボールとなります。



守備でボールをはじいた場合、奥のサイドラインからボールが外に出たら自分たちのボール、奥のサイドラインから外に出たら相手ボールで試合が再開されます

### プリマチュアスロー

投球は審判の「プレー！」のコールの後に行わなければならない。

### デッドボール

投球したボールが相手選手に触れることなくチームエリア内で止まった場合は反則となり、相手チームのボールになります。